



電話機とユーザの挿入

電話機とユーザのグループを Cisco Unified CallManager データベースとディレクトリに追加する手順は、次のとおりです。

Cisco Unified CallManager への電話機とユーザの挿入

始める前に

1. カンマ区切り値 (CSV) データ ファイルを作成して、挿入する電話機およびユーザごとに個々の値を定義します。
 - － 詳細については、[P.22-2](#) の「[BAT スプレッドシートを使用した電話機とユーザの追加](#)」を参照してください。
 - － テキストベースの CSV ファイルについては、[P.A-3](#) の「[電話機とユーザの組み合わせのファイル形式](#)」を参照してください。
2. ファイル形式と CSV データ ファイルを関連付けます。
 - － 詳細については、[P.23-2](#) の「[電話機とユーザのファイル形式の追加](#)」を参照してください。
3. 電話機とユーザ レコードを検証します。
 - － [P.24-2](#) の「[電話機レコードとユーザ レコードの検証](#)」を参照してください。

次の手順を使用して、電話機とユーザを Cisco Unified CallManager に挿入します。

手順

ステップ 1 [Bulk Administration] > [電話とユーザ] > [ユーザ付きの電話の挿入] の順に選択します。

[電話 / ユーザの挿入 (Insert Phones/Users Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [ファイル名 (File Name)] フィールドで、このバルク トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。

ステップ 3 [電話テンプレート名 (Phone Template Name)] フィールドで、このトランザクション用に作成した BAT 電話機テンプレートを選択します。

CSV データ ファイルに個々の MAC アドレスを入力しなかった場合は、[ダミー MAC アドレスの作成 (Create Dummy MAC Address、CTI ポートの場合は、ダミーデバイス名の作成)] チェックボックスをオンにする必要があります。CTI ポートを追加する場合、ダミー MAC アドレス オプションを使用すると、ダミー MAC アドレスの形式で、CTI ポートごとに固有のデバイス名が指定されます。

このフィールドは、BATXXXXXXXXXXXX という形式でダミー MAC アドレスを自動生成します。X は任意の 12 文字の 16 進数 (0 ~ 9 および A ~ F) を表します。

- ユーザに割り当てられる電話機の MAC アドレスが分からない場合に、このオプションを使用します。電話機が接続されると、そのデバイスに対する MAC アドレスが登録されます。
- データ入力ファイルに MAC アドレスまたはデバイス名を指定した場合は、このオプションを選択しないでください。

Cisco Unified CallManager の管理ページにこの情報を手作業で入力するか、または、Unified CM Auto-Register Phone Tool を使用すると、後で、電話機またはデバイスを正しい MAC アドレスで更新できます。Unified CM Auto-Register Phone Tool の詳細については、P.52-2 の「Cisco Unified CM Auto-Register Phone Tool の概要」を参照してください。

ステップ 4 [ユーザテンプレート名 (User Template Name)] フィールドで、このトランザクション用に作成した BAT ユーザテンプレートを選択します。

ステップ 5 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 6 [今すぐ実行] オプション ボタンをクリックして電話機とユーザのレコードを即座に挿入するか、[後で実行] をクリックして電話機とユーザのレコードを後で挿入します。

ステップ 7 [送信] をクリックして、ユーザ レコードを削除するジョブを作成します。

ステップ 8 Bulk Administration メイン メニューの [ジョブスケジューラ] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、第 51 章「ジョブのスケジュール」を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、P.54-3 の「BAT ログ ファイル」を参照してください。

その他の項目

詳細については、P.25-3 の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- [BAT スプレッドシートを使用した電話機とユーザの追加 \(P.22-2\)](#)
- [電話機とユーザの組み合わせのファイル形式 \(P.A-3\)](#)
- [電話機とユーザのファイル形式の追加 \(P.23-2\)](#)
- [電話機レコードとユーザレコードの検証 \(P.24-2\)](#)
- [ジョブのスケジュール \(P.51-1\)](#)
- [Cisco Unified CM Auto-Register Phone Tool の概要 \(P.52-2\)](#)
- [BAT ログファイル \(P.54-3\)](#)

